



BrovalBox DS213+
設置マニュアル
ver1.2

2013年 5月 8日 作成
2013年 11月 8日 改訂

改訂履歴

バージョン	発行日	改訂履歴
1.1	2013年10月31日	<ul style="list-style-type: none">・ FTP 設定の追加。・ アプリケーションポータル設定の追加。
1.2	2013年11月8日	<ul style="list-style-type: none">・ アプリケーション解放ポートの追加。

目次

はじめに	1
ご利用上の注意	
DSM の更新について	2
初期設定	
設置	4
管理者パスワードの設定	5
ネットワークの設定	7
時間の設定	8
DDNS の設定	9
自動ブロックの設定	10
ポート開放の設定	11
FTP の設定	12
アプリケーションの設定	
Mail Server、Mail Station の設定	13
Photo Station の設定	18
Audio Station の設定	20
Surveillance Station の設定	22
アプリケーションポータル設定	24
設置後の確認	25
トラブルシューティング	31

はじめに

～BrovalBox の設置を行う前に必ずご確認ください。～

1

開梱の際に、以下の物が入っているかご確認ください。

- ・「BrovalBox 本体」
- ・「AC アダプタ」
- ・「電源ケーブル」
- ・「LAN ケーブル」



BrovalBox 本体



AC アダプタ



電源ケーブル



LAN ケーブル

2

各ケーブルを設置後、電源ボタンを押す前に、前面のハードディスクトレイを外し、HDD が正しく挿入されているか（HDD にガタつきはないか）を確認してください。



前面のカバー（ハードディスクトレイ）は手前に引けば簡単に外れます。

3

各部の説明



- 1.LED インジケータ
- 2.SD カードスロット
- 3.USB ポート
- 4.Copy ボタン
- 5.電源ボタン
- 6.ファン
- 7.LAN ポート
- 8.RESET ボタン
- 9.eSATA ポート
- 10.電源ポート
- 11.ハードディスクトレイ

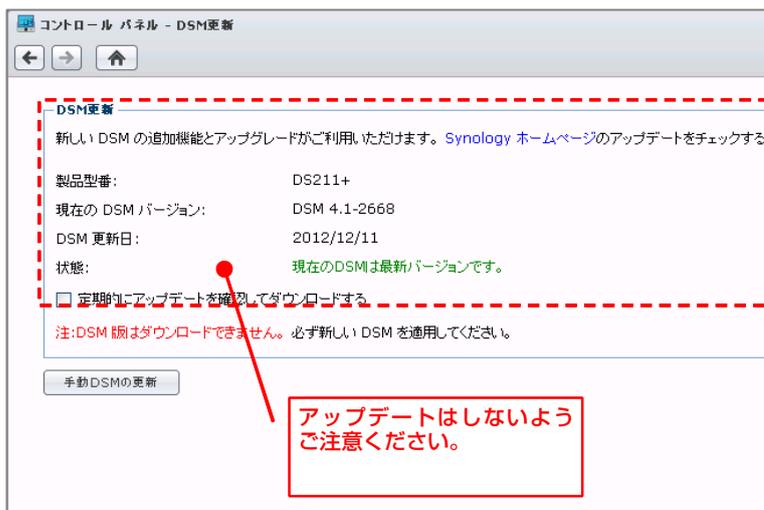
DSM の更新について

1

Disk Station Manager の更新は絶対に行わないでください。

Disk Station Manager 4.1 は「コントロールパネル」の「DSM 更新」から自動的に新しいバージョンを探し、任意でアップデートを行うことができますが、アップデートをすることにより、BrovalBox として利用ができなくなりますので、絶対にアップデートを行わないようにしてください。

※アップデートを行ってしまった場合、回収プログラムの再インストール（有償）を行う必要があります。



2

「PHP 設定」の「PHPsafe_mode_exec_dir アクセス制限を有効にする」にはチェックを入れないでください。

「コントロールパネル」の「Web サービス」の「PHP 設定」にある「PHPsafe_mode_exec_dir アクセス制限を有効にする」にチェックを入れると、正しくアプリケーションなどが、利用できなくなります。



3 「ユーザー」のパスワードは推測されやすいものを避けてください。

固有名詞や数字の羅列、キーボードの配列などを設定している場合、不正アクセスの対象となりやすくなりますので、避けるようにしてください。

※推測されやすいパスワード
「 administrator 」 「 password 」
「 1234 」 「 user 」 「 ユーザー名と同じ 」
など。

また、Disk Station Manager4.1にはユーザーを作成する際に「パスワード強度」を設定することができたり、「パスワードを自動生成」する機能などがございますので、不正アクセス防止のためにも、是非ご活用ください。

■パスワードの強度設定

パスワードを設定する際の条件を細かく設定することができます。

■ランダムパスワードの生成

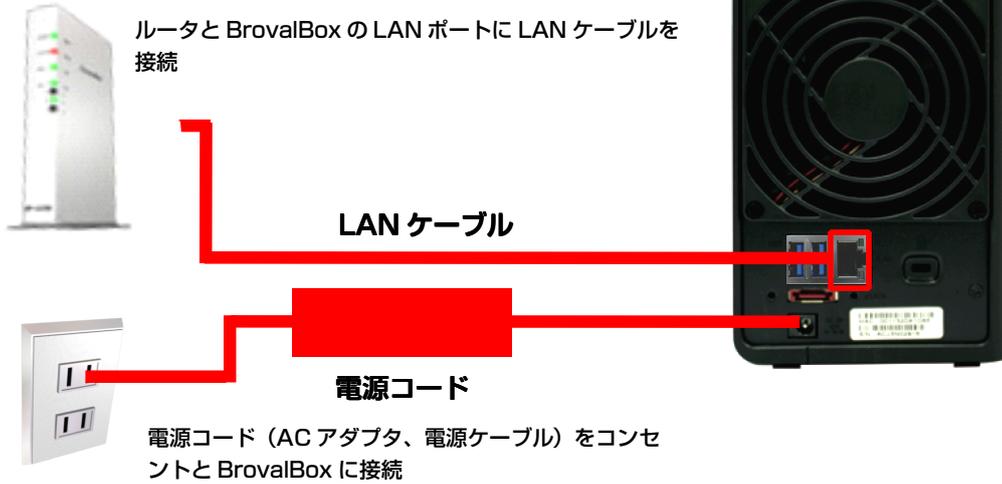
条件にあったパスワードを自動で生成します。

設置

1

BrovalBox を電源ケーブル、LAN ケーブルで接続します。

【BrovalBox 設置例】



2

電源ボタンを押す前に前面のハードディスクトレイを外し、HDD が正しく挿入されているか (HDD にガタつきはないか) を確認をしてください。

正しく接続されている事を確認して、BrovalBox 前面にある電源ボタンを押します。



電源ボタンを押すと BrovalBox 前面のランプが左図のように点灯いたします。

※正しくランプが点灯しない場合は、巻末のトラブルシューティングをご確認ください。



管理者パスワードの設定

～BrovalBox の管理者権限 (admin) のパスワードを設定します。～

1

ローカルネットワーク内にあるパソコンからブラウザを起動し、アドレス入力欄に

■Windows の場合

<http://brovalbox:5000>

■MAC の場合

<http://brovalbox.local:5000>

と入力すると、「Disk Station Manager」の「サーバー機能」ログイン画面が表示されますので、「」（ユーザー ID）欄に「admin」と入力し  をクリックします。



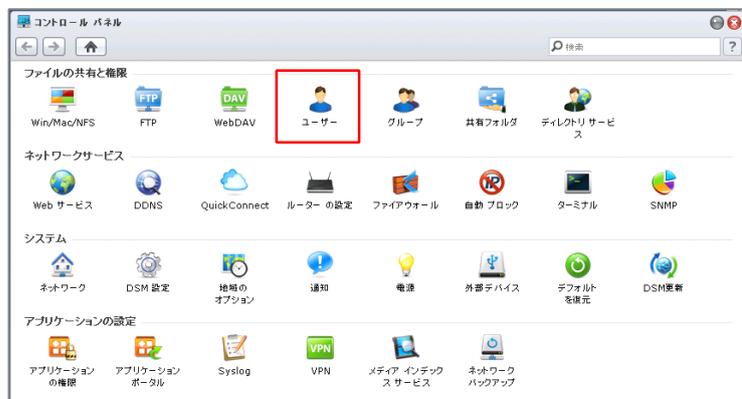
2

Disk Station Manager のトップ画面が表示されますので、**【コントロールパネル】** をクリックします。



3

コントロールパネル画面が表示されるので、**【ユーザー】** をクリックします。



4

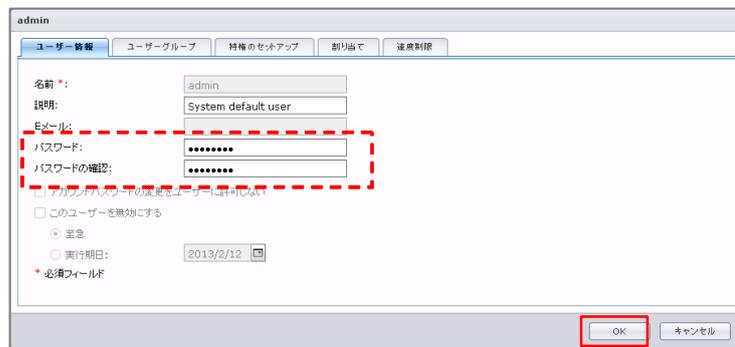
コントロールパネル - ユーザー画面が表示されるので、「admin」を選択した状態で【編集】をクリックします。



5

「admin」の編集画面が表示されるので、任意のパスワードを入力し、【OK】をクリックします。

これで「管理者パスワードの設定」は完了となります。



注意

- ・パスワードは簡単なものやドメインと同じなど、推測されやすい文字列のものは避けて英数字混在の 8 文字程度のもので設定しましょう。

ネットワークの設定

～BrovalBox のローカルネットワーク上の設定を行います。～

1

コントロールパネル画面から、【ネットワーク】をクリックします。



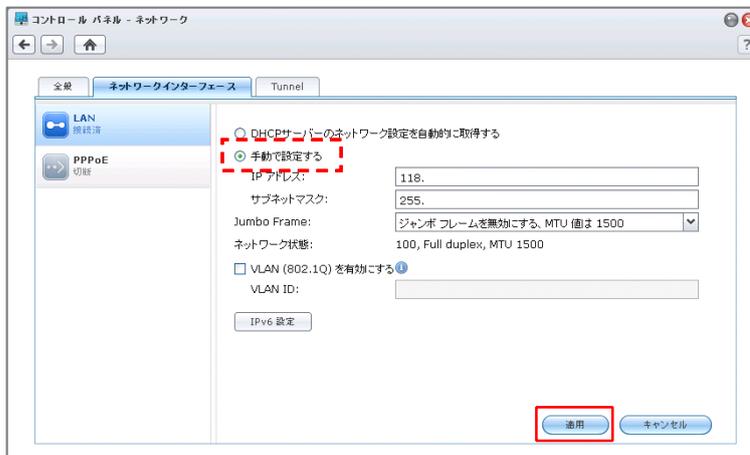
2

コントロールパネル - ネットワーク画面が表示されますので、【ネットワークインターフェース】をクリックします。



3

コントロールパネル - ネットワーク画面が表示されますので、「手動で設定する」にチェックを入れ、【適用】をクリックします。

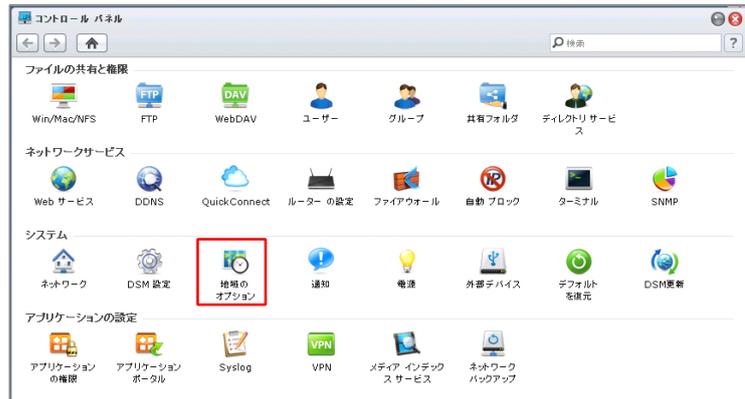


時間の設定

～BrovalBox の時間の設定をします。～

1

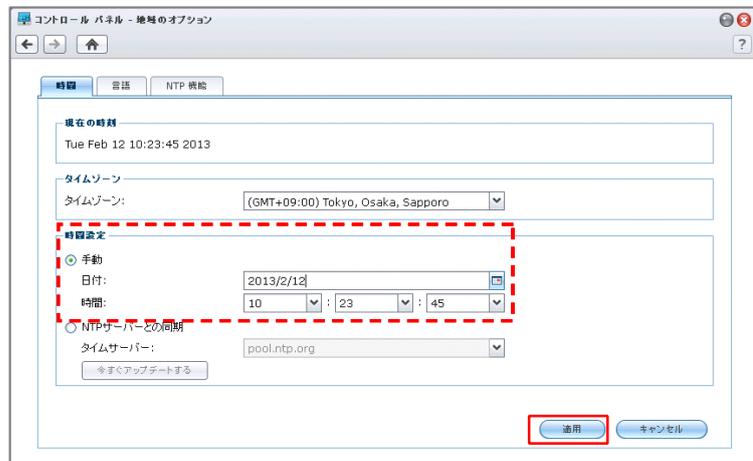
コントロールパネル画面から、【地域のオプション】をクリックします。



2

地域のオプション画面が表示されますので、時間設定の「手動」にチェックを入れ、現在の時間を設定し【適用】をクリックします。

これで「時間の設定」は完了となります。

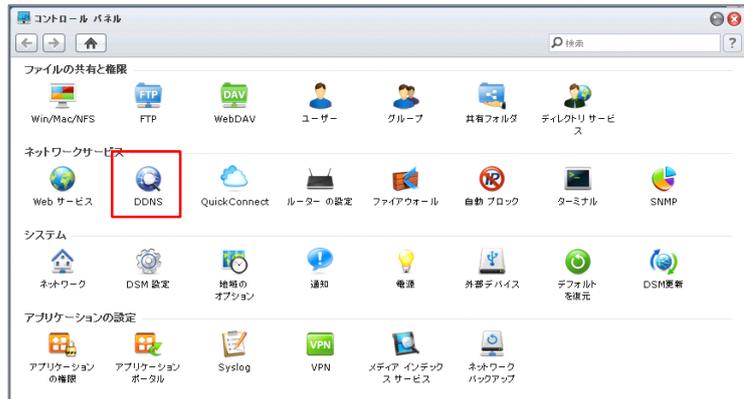


DDNS の設定

～外部からドメインでアクセスするための設定をします。～

1

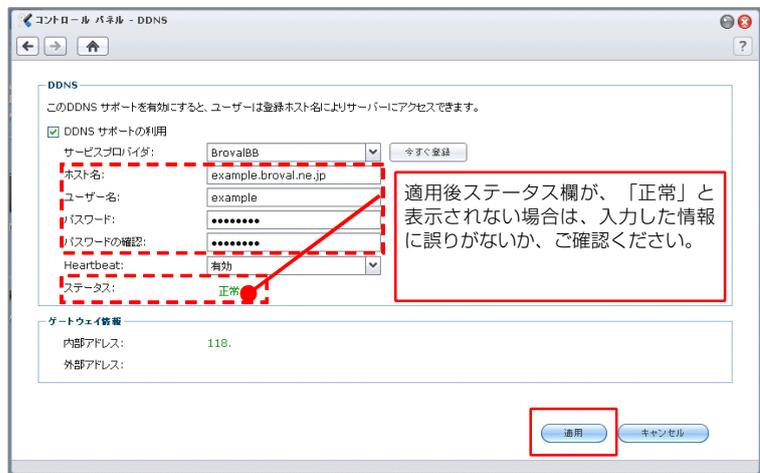
コントロールパネル画面から、**[DDNS]** をクリックします。



2

コントロールパネル - DDNS 画面が表示されますので、通知された「設定完了通知書」の「ダイナミック DNS 設定情報【割当サブドメイン】」欄の「ホスト名」「ユーザー名」「パスワード」を入力し【適用】をクリックします。

これで「DDNS の設定」は完了となります。



ダイナミック DNS 設定情報【割当サブドメイン】の「ホスト名」「ユーザー名」「パスワード」を設定

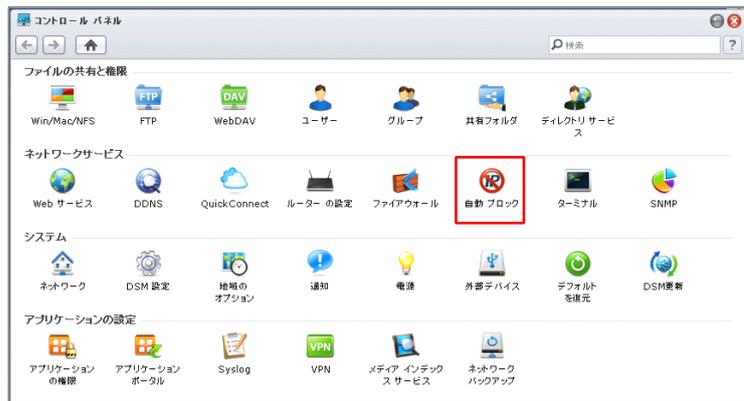


自動ブロックの設定

～外部からの不正なアクセスを自動ブロックする設定をします。～

1

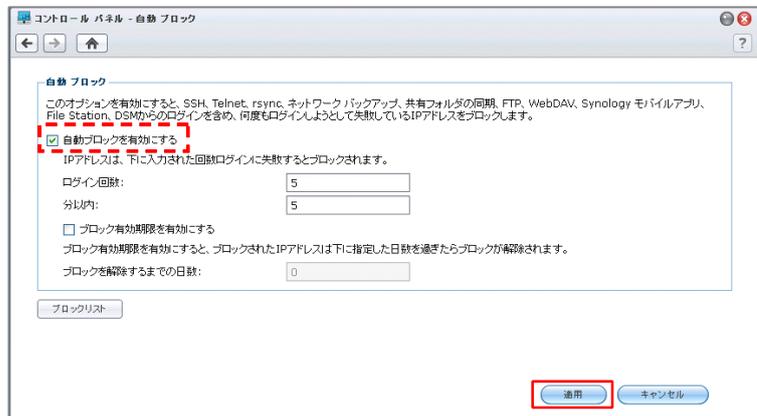
コントロールパネル画面から、【自動ブロック】をクリックします。



2

コントロールパネル - 自動ブロック画面が表示されますので、「自動ブロックを有効にする」にチェックを入れ、【適用】をクリックします。

これで「自動ブロックの設定」は完了となります。



ポート開放の設定

～外部からアクセスできるように、ルーターに指定ポートの開放設定をします。～

- 1 以下のポート番号をルーターに設定し、ポートを開放してください。

※設定参考画面

ポート変換の新規追加

グループ	新規追加 ▼	新規追加: ゲーム用
Internet側IPアドレス	エアステーションのInternet側IPアドレス ▼	手動設定: <input type="text"/>
プロトコル	<input type="radio"/> 全て	
	<input type="radio"/> ICMP	
	<input type="radio"/> 任意	プロトコル番号: <input type="text"/>
	<input checked="" type="radio"/> TCP/UDP	<input type="text"/> 任意のTCPポート ▼ 指定の仕方 <input type="text"/> 任意のTCP/UDPポート:
LAN側IPアドレス	192.168. <input type="text"/>	
LAN側ポート	TCP/UDPポート: <input type="text"/>	

名称	目的	ポート番号
FTP ポート	FTP プロトコルの利用	21 番
SMTP ポート	メールを送信する	25 番
HTTP ポート	ホームページ等 Web サービスを利用する	80 番
POP ポート	メールを受信する	110 番
サブミッションポート	25 番ポートブロックの時のポート	587 番
管理UI	外部から Disk Station Manager へ接続する	5000 番

その他、利用するアプリケーションにより、ポート開放が必要なもの

名称	目的	ポート番号
SSH	暗号化ターミナルサービス	22 番
Telnet	非暗号化ターミナルサービス	23 番
SNMP	ネットワーク上のネットワーク機器を監視	161 番
LDAP	ディレクトリサービス	389 番
VPN (OpenVPN)	仮想プライベートネットワーク (OpenVPN)	1194 番
VPN (PPTP)	仮想プライベートネットワーク (PPTP)	1723 番
WebDAV	Web サーバ上のファイルやフォルダを管理	5005 番
Cloud Station	ファイル同期	6690 番
File Station (追加ポート)	外部から直接 File Station へアクセスする	7000 番

! 注意

- ・ご利用のルーターにより設定方法が異なりますので、各ルーターの説明書を元に設定を行ってください。

FTP の設定

～FTP(ファイル転送プロトコル)を有効にする設定をします。～

1

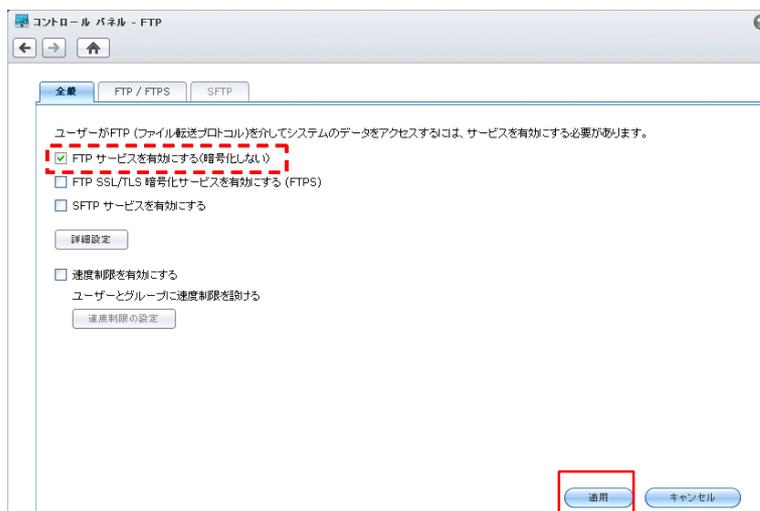
コントロールパネル画面から、**FTP** をクリックします。



2

コントロールパネル - FTP画面が表示されますので、「FTP サービスを有効にする(暗号化しない)」にチェックを入れ、**適用** をクリックします。

これで「FTP の設定」は完了となります。

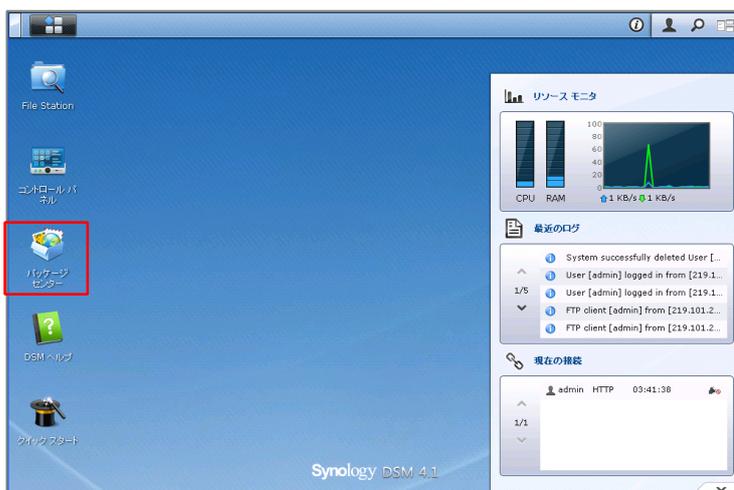


Mail Server、Mail Station の設定

～BrovalBox をメールサーバーとして利用するための設定をします。～

1

Disk Station Manager のトップ画面から、【パッケージセンター】をクリックします。



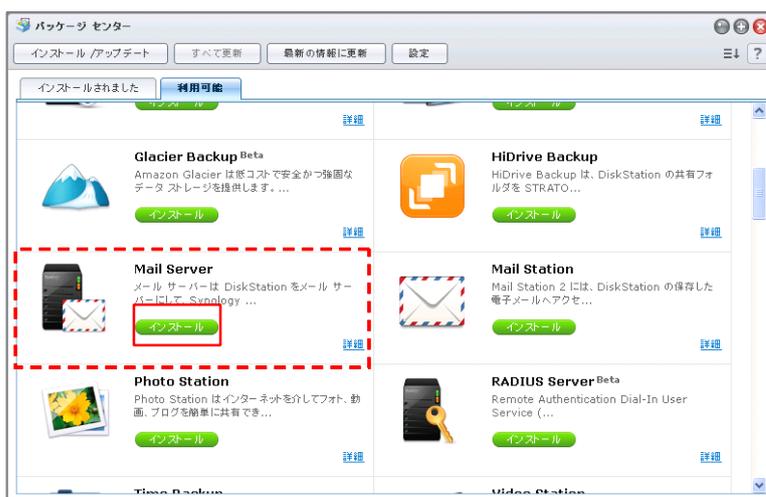
2

パッケージセンターの画面が表示されますので、【利用可能】タブをクリックします。



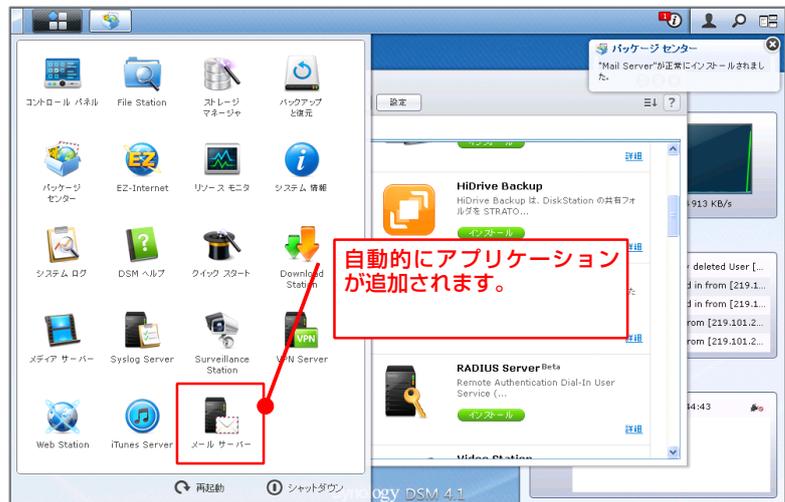
3

利用可能なアプリケーションの一覧が表示されますので、「Mail Server」の【インストール】をクリックします。



4

インストール確認画面が表示されますので、【はい】をクリックすると、自動的にインストールされます。



5

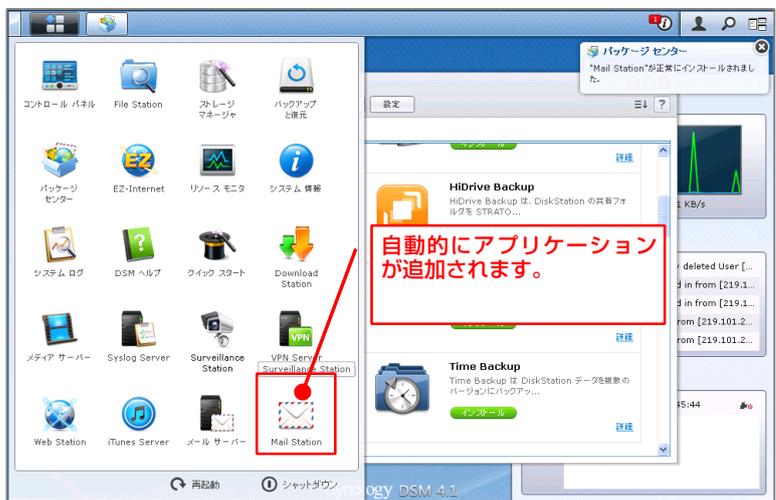
引き続き、利用可能なアプリケーション画面から、「Mail Station」の【インストール】をクリックします。



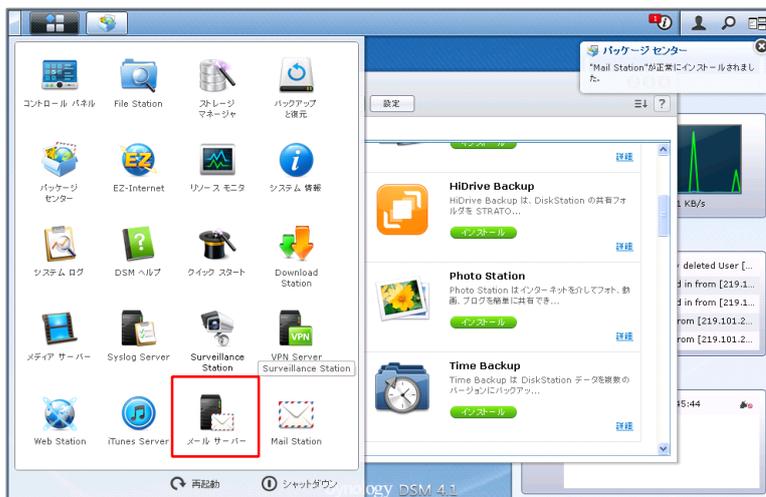
6

インストール確認画面が表示されますので、【はい】をクリックすると、自動的にインストールされます。

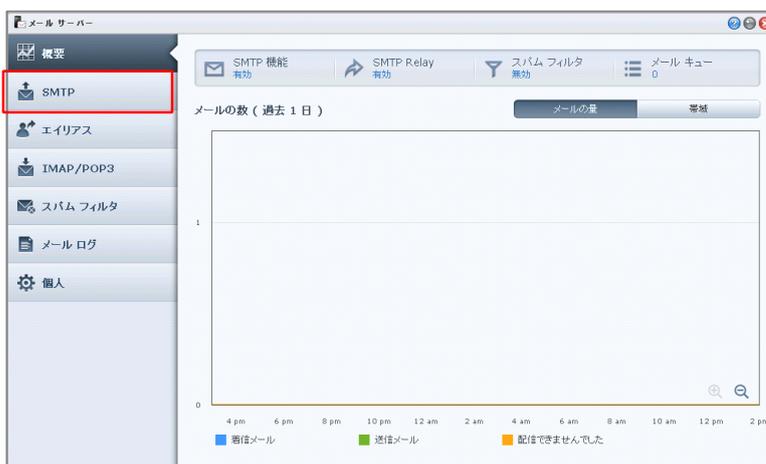
これで、インストール作業は完了となります。



7 「Mail Server」の設定を行う為に、画面左上の「」から【メールサーバー】をクリックします。



8 メールサーバーの概要画面が表示されますので、【SMTP】をクリックします。



9 メールサーバーの SMTP 画面が表示されますので、以下の情報を入力します。

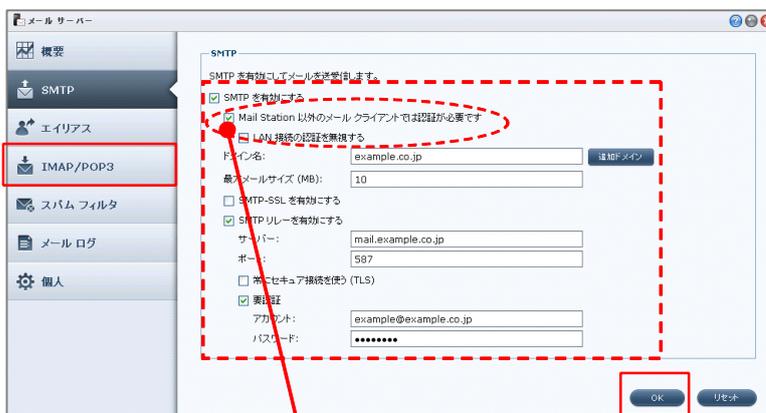
■ (SMTP を有効にする)
⇒チェックを入れます。

■ (ドメイン名)
⇒BrovalBox のドメイン or サブドメイン
を入力します。

■ (SMTP リレーを有効にする)
⇒チェックを入れます。

■ (サーバー)
⇒プロバイダの SMTP 情報を入力します。

■ (ポート)
⇒25 または 587 を入力します。



【Mail Station 以外のメール クライアントでは認証が必要】・【LAN 接続の認証を無視する】には必要に応じてチェックを入れてください。

■【要認証】

⇒チェックを入れます。

※ポート 587 の場合は必須

■【アカウント】

⇒プロバイダから発行されているメールアドレスの「アカウント」を入力します。

■【パスワード】

⇒プロバイダから発行されているメールアドレスの「パスワード」を入力します。

入力後、「OK」をクリックし、**【IMAP/POP3】** をクリックします。

10

メールサーバーの IMAP/POP3 画面が表示されますので、「POP3 を有効にする」「IMAP を有効にする」にチェックを入れ、**【OK】** をクリックします。

これで、「Mail Server」「Mail Station」の設定は完了となります。

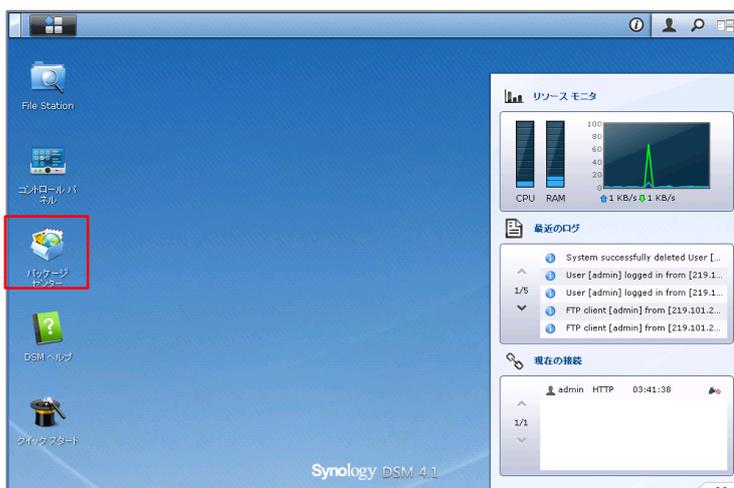


Photo Station の設定

～BrovalBox で Photo Station を利用するための設定をします。～

1

Disk Station Manager のトップ画面にある、**【パッケージセンター】** をクリックします。



2

パッケージセンターの画面が表示されますので、**【利用可能】** タブをクリックします。



3

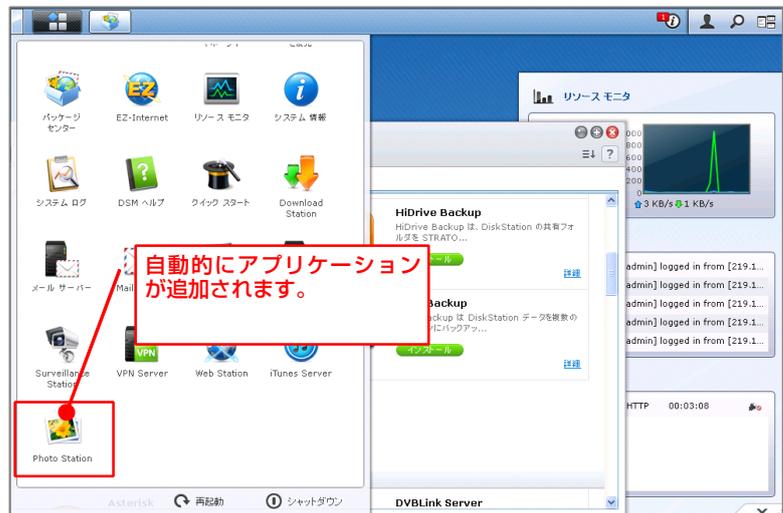
利用可能なアプリケーションの一覧が表示されますので、「Photo Station」の**【インストール】** をクリックします。



4

インストール確認画面が表示されますので、【はい】をクリックすると、自動的にインストールされます。

これで、インストール作業は完了となります。



Audio Station の設定

～BrovalBox で Audio Station を利用するための設定をします。～

1

Disk Station Manager のトップ画面にある、**【パッケージセンター】** をクリックします。



2

パッケージセンターの画面が表示されますので、**【利用可能】** タブをクリックします。



3

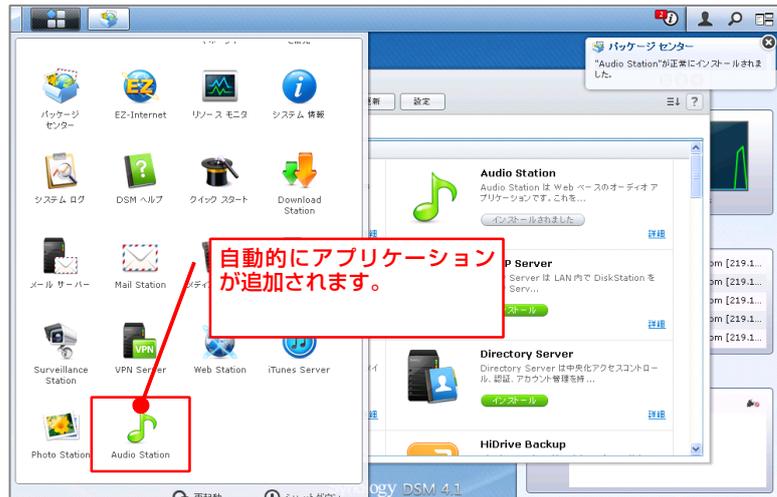
利用可能なアプリケーションの一覧が表示されますので、「Audio Station」の**【インストール】** をクリックします。



4

インストール確認画面が表示されますので、【はい】をクリックすると、自動的にインストールされます。

これで、インストール作業は完了となります。



Surveillance Station の設定

～BrovalBox で Surveillance Station を利用するための設定をします。～

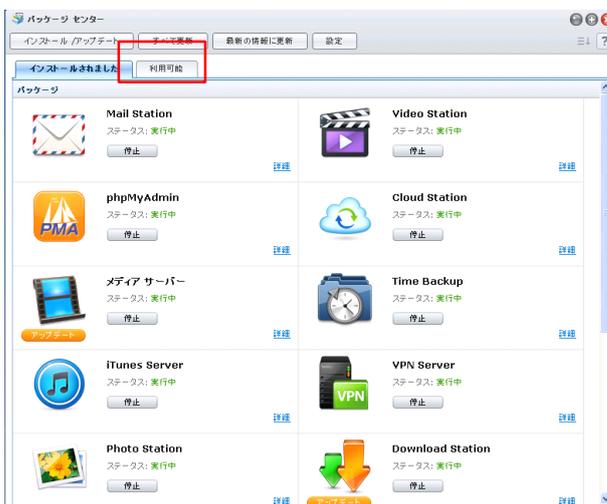
1

Disk Station Manager のトップ画面にある、**【パッケージセンター】** をクリックします。



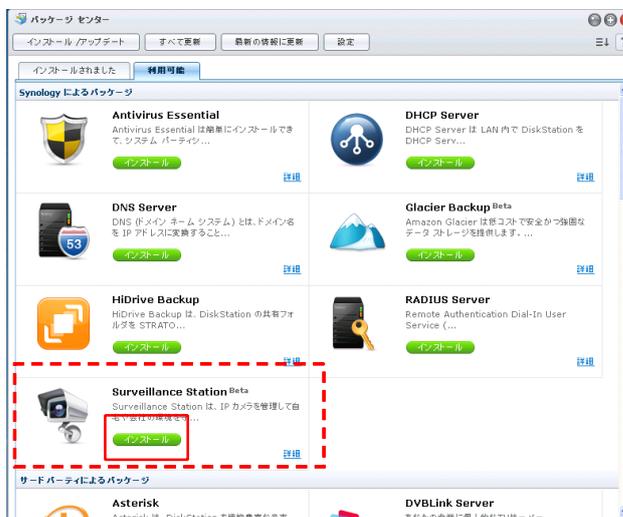
2

パッケージセンターの画面が表示されますので、**【利用可能】** タブをクリックします。



3

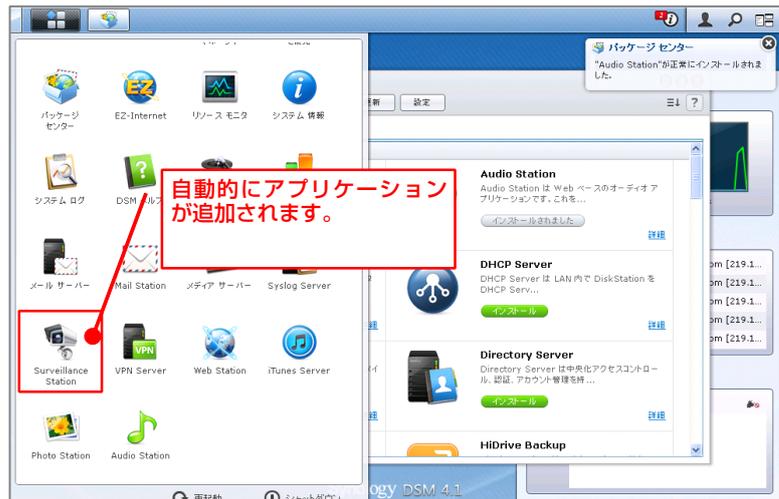
利用可能なアプリケーションの一覧が表示されますので、「Surveillance Station」の**【インストール】** をクリックします。



4

インストール確認画面が表示されますので、【はい】をクリックすると、自動的にインストールされます。

これで、インストール作業は完了となります。

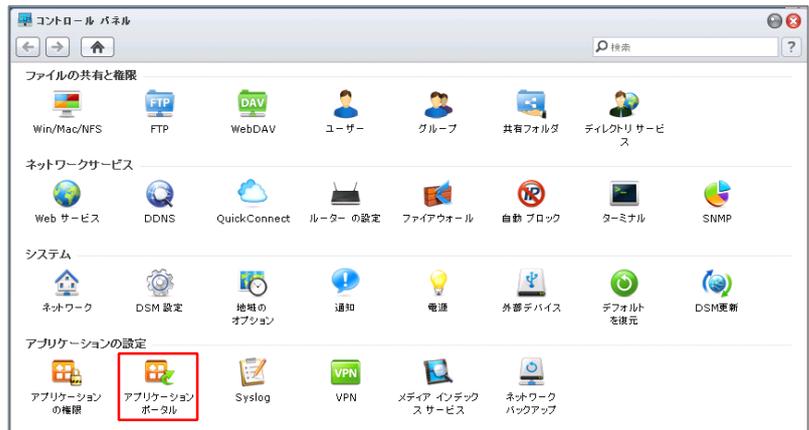


アプリケーションポータルの設定

～DSM にログインしなくてもアプリケーションを起動するための設定をします。～

1

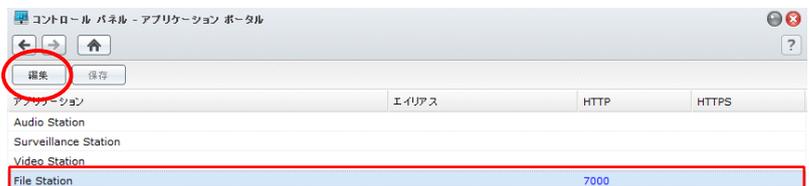
コントロールパネル画面から、【アプリケーションポータル】をクリックします。



2

コントロールパネル - アプリケーションポータル画面が表示され、設定可能なアプリケーションの一覧が表示されます。

ここでは「File Station」を選択して【編集】をクリックします。。



3

「カスタマイズしたポート (HTTP) を有効にする」にチェックを入れます。

ポートはデフォルトで設定されていますが、変更することも可能です。

変更が完了したら【OK】をクリックします。

これで「http://ドメイン (またはサブドメイン) :7000」から直接FileStationにアクセスできるようになります。



設置後の確認

BrovalBox 設置後、BrovalBox 検収確認書のチェック項目に基づき下記の項目を確認します。確認が完了しましたら、BrovalBox 検収確認書に各項目にチェックを入れてください（MAC アドレスとシリアル NO.は検収確認書に番号の記載をお願いします）。

- 設置した BrovalBox の MAC アドレス
- 設置した BrovalBox のシリアル
- 正しく電源が入っているか
- Appli Station Manager にログインできる
- Disk Station Manager に管理者パスワードでログインできる
- DDNS の設定を「設定通知書」通りに入力している
- メールサーバーの設定が完了している
- http://〔ドメイン or サブドメイン〕/asm/で Appli Station Manager にアクセスできる
- http://〔ドメイン or サブドメイン〕/dsm/で Disk Station Manager にアクセスできる
- admin@〔ドメイン or サブドメイン〕でメールの送受信ができる

1 設置した BrovalBox の MAC アドレス

右図を元に「MAC」に記入されている 12 桁の英数字を「BrovalBox 検収確認書」に記入します。



MAC:12 桁の英数字

2 設置した BrovalBox のシリアル NO.

右図を元に「S/N」に記入されている 10 桁の英数字を「BrovalBox 検収確認書」に記入します。



S/N:10 桁の英数字

3 正しく電源が入っているか

電源を入れた後に、右図の様に各ランプが点灯・点滅していたら正常です。

※正しく点灯していない場合は、巻末のトラブルシューティングをご確認ください。



STATUS ⇒点灯 (緑)

LAN ⇒点滅 (緑)

DISK1 ⇒点灯 (緑)

DISK2 ⇒点灯 (緑)

電源 ⇒点灯 (青)

4 Appli Station Manager にログインできる

ローカルネットワーク内にあるパソコンからブラウザを起動し、アドレス入力欄に

「http://brovalbox/asm/」と入力し Appli Station Manager のログイン画面が表示されます。

①ユーザー名欄に設定したユーザーID、パスワード欄に設定したパスワードを入力して②「サインイン」をクリックし、ログインできるか確認をします。

※ログインできない場合は、巻末のトラブルシューティングをご確認ください。

AppliStationManager

Broval Box
For use by the global standard

AppliStationManager Signin!

ユーザー名: admin ①

パスワード: ●●●●●● ②

パスワードを忘れた方はこちら

サインイン

5 Disk Station Manager に管理者パスワードでログインできる

ローカルネットワーク内にあるパソコンからブラウザを起動し、アドレス入力欄に

「http://brovalbox/dsm/」と入力し、Disk Station Manager のログイン画面が表示されます。

①ユーザー ID 欄に「admin」、②パスワード欄に設定したパスワードを入力して③「ログイン」をクリックし、ログインできるか確認をします。

※ログインできない場合は、巻末のトラブルシューティングをご確認ください。

brovalbox

① admin

② ●●●●●● →

この情報を記憶する

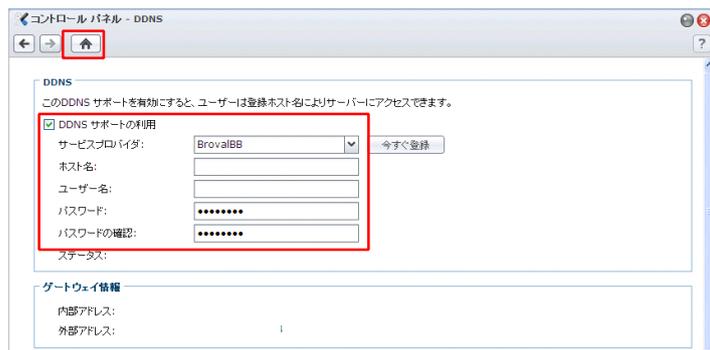
6

DDNS の設定を「設定通知書」通りに入力している

「コントロールパネル」の「DDNS」を選択し、右図を元に「設定通知書」に記載された情報が入力され、状態が「ノーマル」になっているか確認します。

設定を確認後、【】をクリックして「コントロールパネル」画面に戻ります。

※ステータスがノーマルと表示されない場合は、巻末のトラブルシューティングをご確認ください。



7

メールサーバーの設定が完了している

【】から「メールサーバー」を選択し、「SMTP」「IMAP/POP3」を本マニュアル「15ページ」で設定した内容に違いはないか確認します。

設定を確認後、を【OK】をクリックし、メイン画面に戻ります。

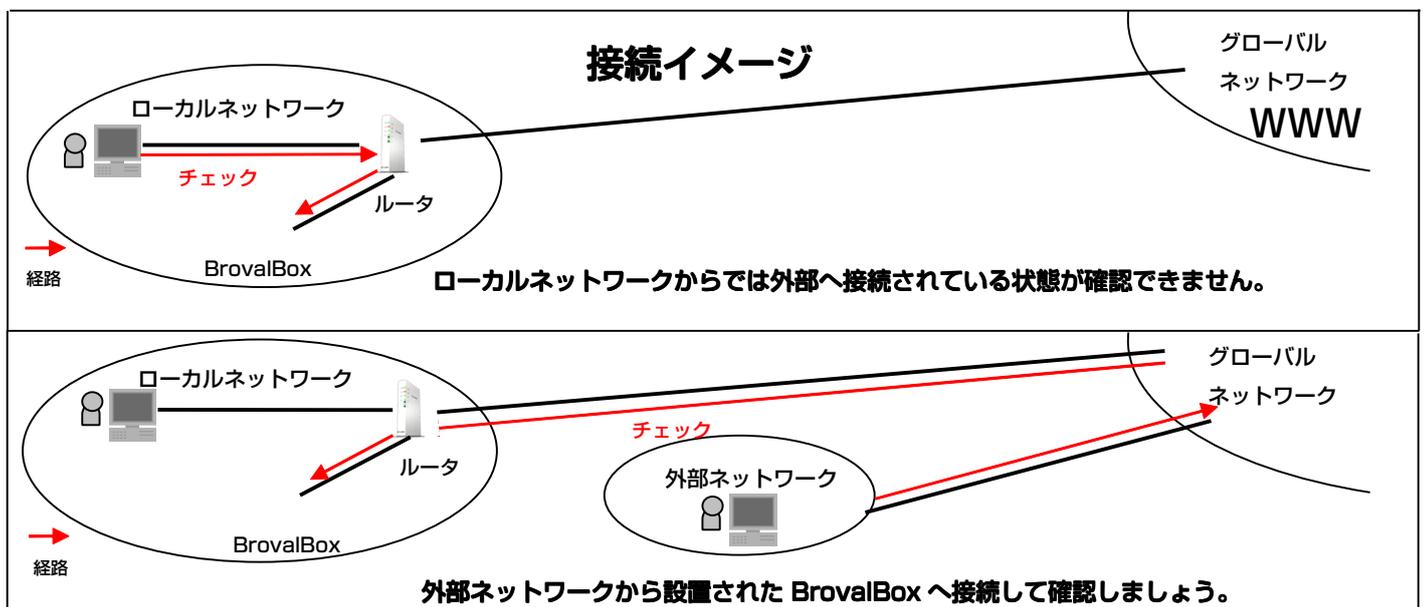


8 http://〔ドメイン or サブドメイン〕/asm/でアクセスできる

外部ネットワーク環境からブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://〔ドメイン or サブドメイン〕/asm/」と入力し、Appli Station Manager のログイン画面が表示されるか確認します。

※ローカルネットワーク環境からは確認できませんので、外部ネットワークよりお試しください。

※アクセスできない場合は、巻末のトラブルシューティングをご確認ください。

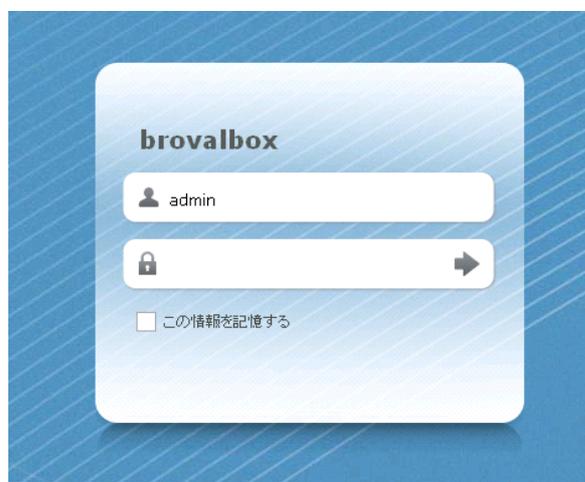


9 http://〔ドメイン or サブドメイン〕/dsm/でアクセスできる

外部ネットワーク環境からブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://〔ドメイン or サブドメイン〕/dsm/」と入力し、Disk Station Manager のログイン画面が表示されるか確認します。

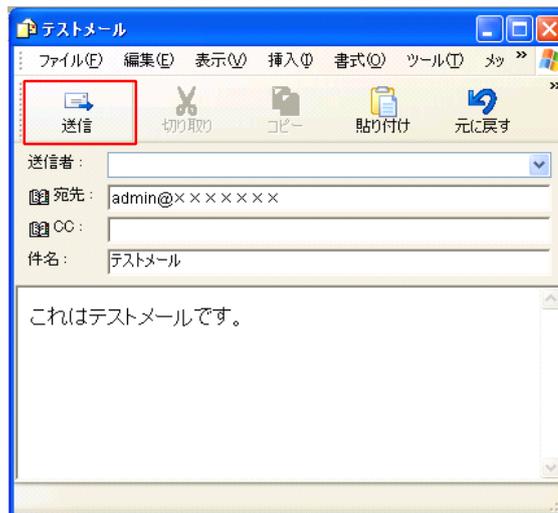
※ローカルネットワーク環境からは確認できませんので、外部ネットワークよりお試しください。

※アクセスできない場合は、巻末のトラブルシューティングをご確認ください。



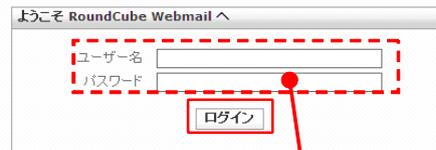
10 admin@〔ドメイン or サブドメイン〕でメールの送受信ができる

メールソフトを起動し、新規メール作成から「admin@ドメイン」と入力し、【送信】ボタンをクリックします。



ローカルネットワーク環境からブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://〔ドメイン or サブドメイン〕/mail/」と入力し、ウェブメールのログイン画面が表示されます。

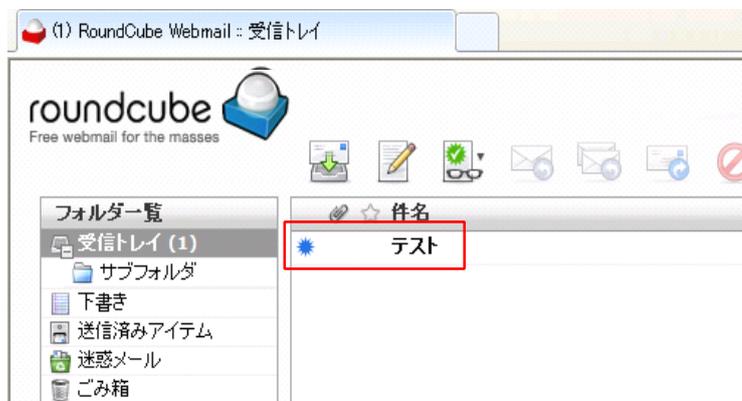
ユーザー名に「admin」と入力し、本マニュアル「6ページ」で設定したパスワードを入力して【ログイン】をクリックします。



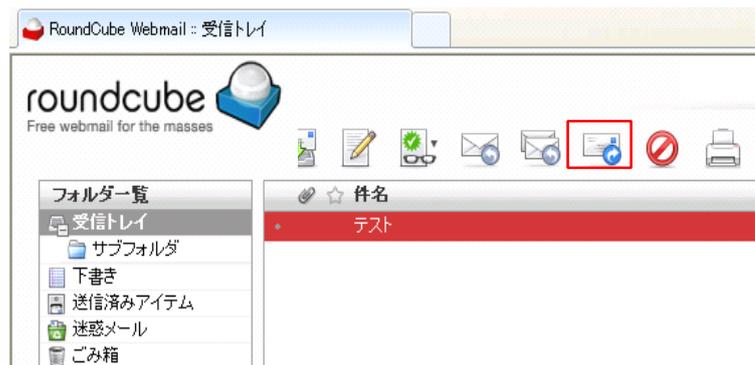
ユーザー名 : admin
パスワード : 本マニュアル「6ページ」で設定したパスワード

ウェブメールにログイン後は、受信トレイが表示されます。

この受信フォルダに先ほど送ったメールが受信されます。



このメールを返信する為に、テストメールを選択後、【】をクリックします。

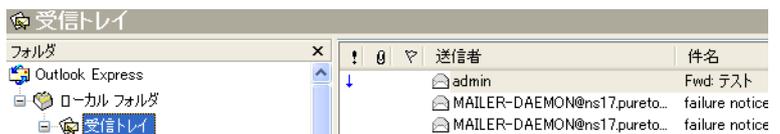


返信フォームが立ち上がりますので、受信者の欄に「送信したメールアドレス」を入力し【**今すぐ送信**】をクリックします。



メールソフトを起動し、メールが送受信出来ることを確認してください。

※メールの送受信ができない場合は、巻末のトラブルシューティングをご確認ください。



トラブルシューティング

～設置、設定がうまくできない場合にご確認ください。～

	症状	対策
1	電源を入れると警告音がする	BrovalBox の電源が「OFF」になっていることを確認したうえで、前面のハードディスクトレイを外し HDD が正しく（カチッというまで）差し込まれていることを確認してください。
2	DDNS の設定が「正常」にならない	<ul style="list-style-type: none"> ・ DDNS の設定を再度ご確認ください。 ・ BrovalBox を再起動してから再度ご確認ください。
3	前面「LED インジケータ」のランプが正しく点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「STATUS」のランプがオレンジ色に点滅する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ BrovalBox の電源が「OFF」になっていることを確認したうえで、前面にある BrovalBox のカバーを外し HDD が正しく挿入されているかご確認ください。 ■ 「LAN」のランプがつかない。 <ul style="list-style-type: none"> ・ LAN ケーブルが正しく接続されていない可能性が考えられますので、接続状況を再度ご確認ください。 ■ 「DISK1」または「DISK2」のランプが、オレンジに点滅する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 内蔵されている HDD が、劣化している可能性がございます。詳しい状況を確認いたしますので、サンファースト株式会社カスタマーサポートまでご連絡ください。
4	パスワードを設定後、そのパスワードを入力しても Disk Station Manager にログインできない	<p>本マニュアルの「管理者パスワードの設定」で設定した「パスワード」をもう一度ご確認くださいの上でログインをしてください。</p> <p>※それでもログインができない場合は BrovalBox の管理者（admin）を初期化する必要がございますので、サンファースト株式会社カスタマーサポートまでご連絡ください。</p>
5	外部からドメイン or サブドメインでアクセスができない	<p>ルーターに設定したポート開放が正しくできていない可能性や、ネットワーク上のセキュリティーなどによってブロックされている可能性がございます。</p> <p>もう一度、ルーターに設定に誤りがないか、ネットワーク環境に問題がないかご確認ください。</p>
6	admin@〔ドメイン or サブドメイン〕でメールの送信ができない	<ul style="list-style-type: none"> ・ Mail Server の設定が正しいかどうか、ご確認ください。 ・ 設定したプロバイダ情報に誤りがないか、もう一度ご確認ください。 ・ プロバイダが SMTP 送信サーバーとして許可をしていない場合は別のプロバイダ情報を入力して、お試しください。 ・ ルータ設定にて「25 番ポート」もしくは「587 番ポート」が開放されているか、もう一度ご確認ください。
7	admin@〔ドメイン or サブドメイン〕でメールの受信ができない	<ul style="list-style-type: none"> ・ Mail Server の設定が正しいかどうか、ご確認ください。 ・ ルータ設定にて「110 番ポート」が開放されているか、もう一度ご確認ください。